

平成18年度予算のあらまし

平成18年度の水道事業会計予算は、平成18年3月定例市議会で下記のとおり議決されました。

【収益的収支】

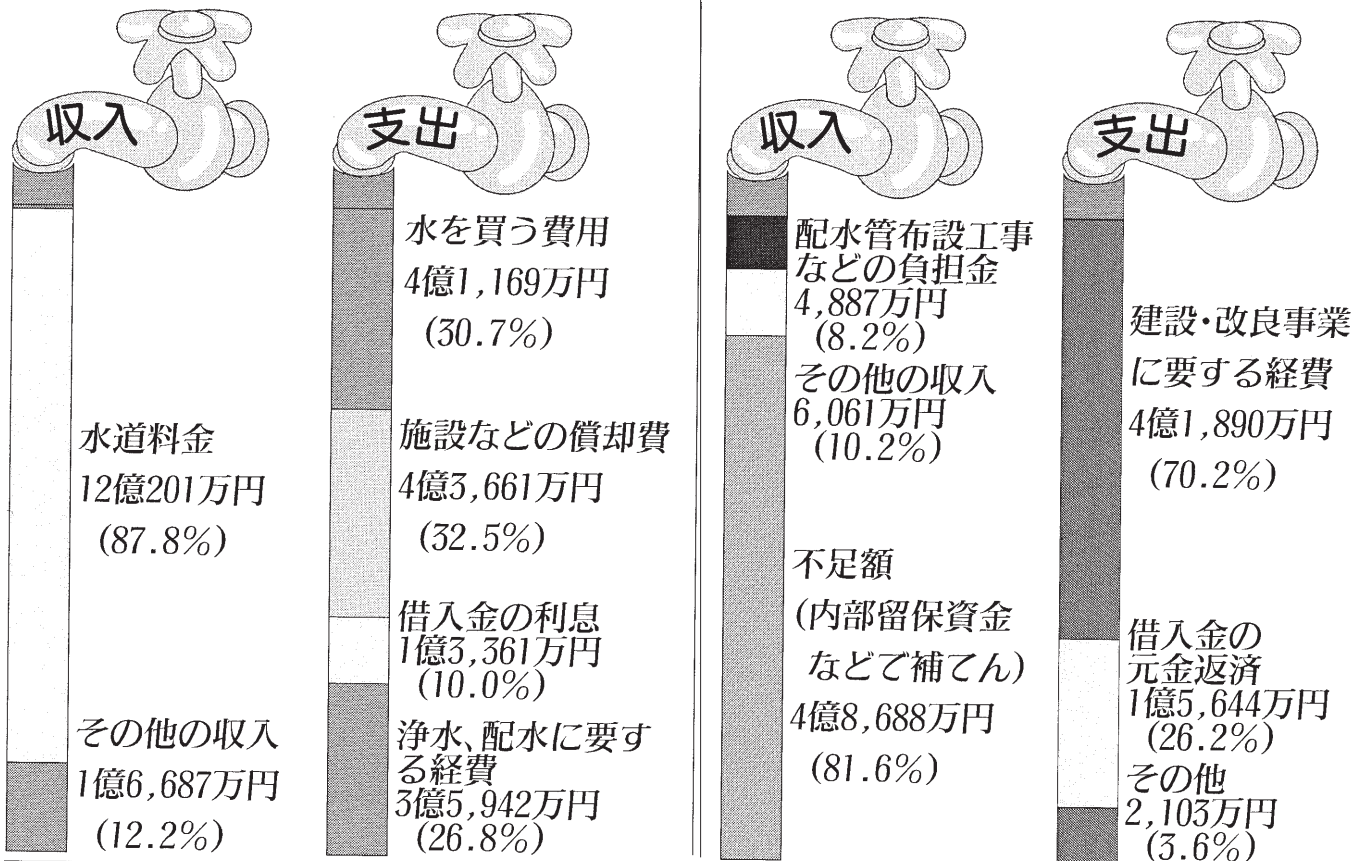
(水をお届けするための予算)

収入の水道事業収益につきましては、年間配水量が前年度より1.5%増の727万5千m³を見込み336万6千円、0.2%の増収。支出の水道事業費用については、施設修繕が増加することなどにより、1,382万4千円、1.0%増えています。

【資本的収支】

(施設を作るための予算)

資本的収入につきましては、国庫補助金や分担金などの増額により、770万5千円、7.5%の増収。資本的支出につきましては、配水ポンプ設置工事などの工事費が増加するなどにより、8,553万9千円、16.7%増えています。



主な事業

○昭和40年代に建設した水道施設(A系ポンプ設備)の老朽化が著しく、更新の時期を迎えております。第4期拡張事業(平成3年)に建設したB系ポンプ設備(現在2台運転)にポンプ1台を増設して、3台のポンプを効率的に運転することにより、安定した水道水を提供してまいります。

○石綿管布施替えにつきましては、平成17年度に策定した「石綿管更新事業基本計画」に基づき、災害に強い水道を構築するため計画的に事業の推進に努めてまいります。

《業務の予定量》平成18年度

(1) 給水戸数	23,039 戸
(2) 給水人口	61,953 人
(3) 年間総配水量	7,275,000 m ³
(4) 1日平均配水量	19,931 m ³